

ドライバーの安全に寄り添う

すべての運ぶに安全を

SSCV
Smart & Safety Connected Vehicle

Safety

3つの
ポイント

SSCV-Safetyは、ドライバーの健康と安全を同時に見守り、
事故リスクを予測することができる、唯一無二のソリューションです

健康と安全を
見守る

事故リスクを
予測

精度と
使い勝手

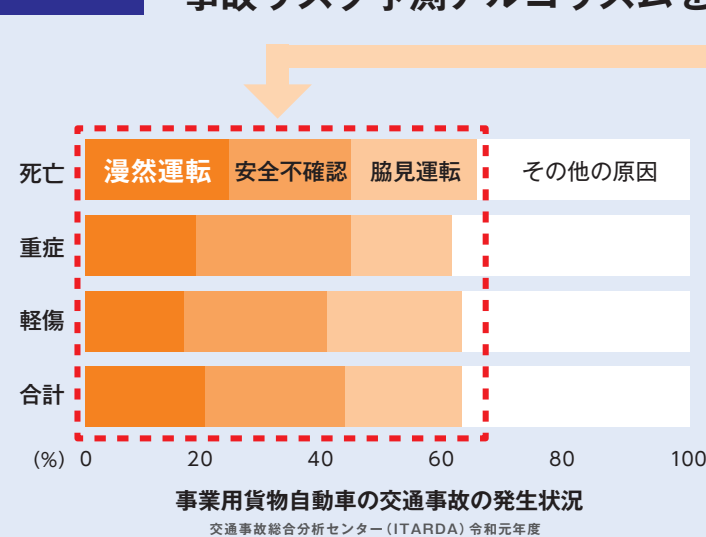


SSCV Safety はドライバーを守り、すべての事業者に「安全」を届ける

IoTとAIテクノロジーでドライバーの体調と運行を見守り、事故につながる危険の芽を瞬時に把握して摘み取ることを徹底的に追求した、安全運行管理ソリューションです。

コンセプト CONCEPT

安全運行の実現にはドライバーの「疲労状態の把握と健康管理」が重要です。健康状態に起因し、重大事故につながる「漫然運転」をなくすために、ヒヤリハットをすべて可視化することをコンセプトに事故リスク予測アルゴリズムを開発



特長 FEATURE

漫然運転につながるドライバーの疲労状態を可視化し、事故を事後に把握するのではなく、先回りして危険の芽を摘み取るソリューション



機能 FUNCTIONS

1. ドライバー向けの体調測定と、管理者向けのダッシュボード機能が連動し、リアルタイムで事故につながるヒヤリハットと疲労状態を検知
2. 車間距離不足、急制動、一時不停止、脇見などの事象および疲労状態をリアルタイムにドライバーへ直接音声通知※1
3. データを一元管理し可視化することにより、事故を未然に防ぐだけでなく、運行後の振り返りも可能 ※1 ドラレコの機種によって通知するヒヤリハットイベントは異なります



予測する — 先回りした危険抑制 —

見守る — 運行中の危険把握と警告 —

振り返る — 運転の評価と改善支援 —

ドライバー向け

POINT ドライバーの疲労状態を測定

付属デバイス ※2

- 体温計
- 血中酸素濃度計
- 血圧計
- 自律神経計

POINT 車の走行状況、ドライバーの疲労レベルを捕捉し、危険運転や疲労状態を検知

付属デバイス ※2

- IoTドラレコ
- IoTボタン
- バンド型デバイス

危険走行注意喚起
危険運転、危険状態など発生した際にその場でお知らせ

POINT 運行の軌跡とともに、ヒヤリハットとして自動で切り出された動画で振り返り、評価・記録をすることも可能

- 運行ルート
運行の軌跡および、危険な状況が発生した箇所を表示
- 危険運転動画
自動で検知されたショート動画を簡単に確認
- 運転評価コメント入力
ヒヤリハットごとに評価内容を記録でき、確認状況も表示

管理者向け

POINT ドライバー個人ごとの体調や疲労状態を把握

- 体調総合判定
その日のドライバーの体調を判定し可視化
- ヒヤリハット予報
疲労レベルを計測し、独自アルゴリズムでその日のヒヤリハット発生を予測
- ヒヤリハットマップ

POINT ドライバーに迫る危険状況をメール通知
全車両の位置と全ドライバーの疲労レベル把握も可能

管理者向け有事情報通知
危険情報と対象イベント・位置・動画を通知

車両位置・疲労レベル見守り
最新の交通情報とあわせて車両位置とドライバーの疲労レベルを表示

※2 付属デバイスの構成は変更になる可能性があります

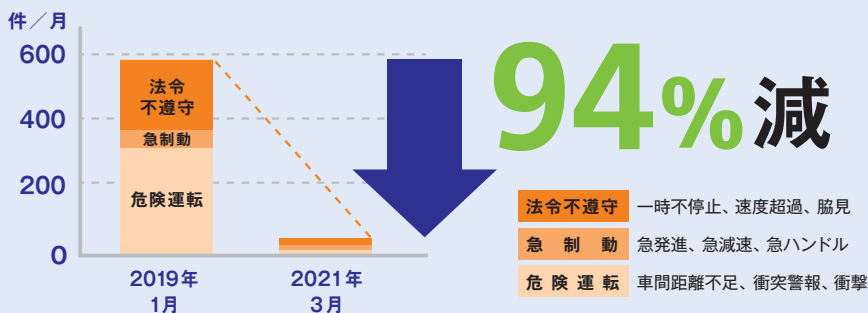
効果
EFFECTS

漫然運転に起因する事故はゼロ
ヒヤリハットの発生件数も大幅に減少し、その有効性が確認されています

漫然運転に起因した
車両事故

 **0件**
継続中

総インシデント(ヒヤリハット) 発生件数



運行管理支援
コンプライアンス
強化
MANAGEMENT

点呼簿、車両の日常点検簿をデジタル化
従来紙帳票で管理されている点呼簿や日常点検簿をデジタル化することで、法的要件+業務効率化により業務負担を軽減します



デジタル点呼簿

点呼時間の短縮、
点呼簿のペーパーレス化と
保管管理の効率化



デジタル日常点検簿

日々の点検結果をデジタル・
ペーパーレス化と効率化



SSCV
Smart & safety connected vehicle

効率化

Smart

業務効率向上
法令遵守



安全

Safety

安全運行管理
事故ゼロの社会



車両管理

Vehicle

車両整備の最適化
故障予兆・予防整備

Safetyに関する問い合わせはこちら

オンライン個別相談会
の申し込みはこちら

SSCV紹介動画



オフィシャルWebサイト

SSCV Safety 検索